

## お祝いメッセージ

### 茨城県国家公務員労働組合連合会 殿

茨城県内の各地ではたらく仲間みなさん、 こんにちは！

私たちは、県内の国家公務員の仲間組織している茨城県国家公務員労働組合連合会、茨城国公です。

昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大や、一昨年 10 月の台風 19 号による大雨や 2018 年 9 月豪雨による鬼怒川破堤をはじめ毎年のように発生する甚大な自然災害などで、国民のいのちや暮らし、安心・安全、権利を守る行政に対する国民のみなさんからの期待は高まっています。その一方で、公務・公共サービスの脆弱性、もろさ・弱さがあらためて浮き彫りになっています。

これは、国民・県民の期待に応える行政機関ではたらく国家公務員が足りていない状況にあるからです。

国家公務員の定員は「総定員法」という法律によって職員の上限数が厳しく制限されているうえに「定員合理化計画」で毎年 2%（5 年で 10%以上）ずつ人員が削減されつづけています。削減の主な対象は、住民と直接向き合う地方出先機関の職員です。

茨城県内にも、厚生労働省、法務省、国土交通省、裁判所、税務署など、国家公務員がはたらく出先機関の職場があります。例えば、過重労働や労働災害から労働者を守っている全国の労働基準監督署では、この 10 年間で 500 人以上の職員が減らされて、国民・県民からの期待やニーズに応えたくても十分に答えられない状況に陥っています。

一方、求職中や失業給付を受ける時など、働く人に最も身近な国の機関として全国のハローワークがあります。その窓口で職業相談や専門支援にあたっている職員の大半は、非正規雇用です。脆弱になった行政体制を補完し、増加する行政ニーズに対応するため、非常勤職員が多く採用されていて、そ

の数は全国の政府機関で約 8 万人にのぼり、安定した行政運営に不可欠な存在となっています。しかし、その非常勤職員の待遇は、均等待遇もすすまざる劣悪で、雇用も不安定であることから「官製ワーキングプア」と批判されています。

私たち茨城国公では、国民の安心・安全、権利を守るため、行政運営に必要な人員の確保と非常勤職員の安定雇用の実現によって、公務・公共サービスを拡充することを求める運動に取り組んでいます。

新型コロナや自然災害から、国民・住民のいのち・暮らしをまもるため、ひきつづき、私たちの運動に賛同と御協力をいただけますようお願いいたします。  
ともにがんばりましょう！

2021 年 5 月 1 日



## 新社会党つくば市議会議員 金子 かずお 殿

新たな試みで開催される第 92 回つくば中央メーデーの取り組みではご苦労様です。これまで取り組まれてきたメーデーには脈々と続く歴史があり、つくば地区のメーデーも広域の地域からの参加や様々な仕様もあり歴史的一幕を飾るものでありました。

新型コロナ感染症対策の取り組みも進められる中でありますが、新規感染者が日増しに増加傾向となり各種の政策がとられていますが、ワクチンの接種効果を期待する物であります。この様な不安な状況下での開催は参加者や関係者の健康と安全を保てるのが出来るのか思案されるもので新たな取組と評価されるものであります。

コロナ禍は、医療、福祉、教育、雇用、文化などで人間らしさが軽んじられてきています。新政権は、資本主義の矛盾を弱者や労働者へのしわよせを押しとどめるための社会的規制や社会保障施策を後退させ、規制緩和と緊縮

政策、憲法改正でいつでも「戦争の出来る国」へと一人勝ちを正当化してきています。国政での野党共闘の取り組みの強化を推進していきましょう。



## つくば・市民ネットワーク 殿



あさのえくこ



皆川幸枝



川村直子



小森谷さやか

第92回つくば中央メーデーの開催、誠におめでとうございます。

今年も皆さまと熱い想いを語り合うことができずたいへん残念ですが、このような形で互いの想いや活動を共有できることを嬉しく思います。

さて、世界がコロナに振り回されて1年以上が経ちます。つくば市では経済的に影響を受けた市民や事業者に対して、子育て世帯応援給付金、就学援助金、事業者応援チケット事業やテナント支援補助金等々、市独自の支援を含めさまざま対策を行ってきました。しかしまだ支援が行き届いているとは言えません。長引く経済的影響で大変なのはむしろこれからであり、さらに踏み込んだ支援策を講じていく必要がある、と3月議会でも訴えたところです。

また、昨年度から自治体の臨時・非正規職員が、会計年度任用職員となりました。この制度は、「官製ワーキングプア」の固定化、正当化に繋がるなどの問題点が指摘されています。つくば市の全職員に対する会計年度任用職員の割合は44%で約1500人、そのうち約9割の1400人近くが女性です。事務職を始め保育士や保健師・看護師、図書館司書や各種支援員、相談

員など、女性の割合が高い職種が非正規化しやすいことから、女性の労働問題や人権問題の視点からも考える必要があります。3月議会で現状と課題を把握しましたので、今後も引き続き取り組んでいきます。

さまざまな分野で問題が山積していますが、ともに力を合わせて粘り強く！声を上げていきましょう！



### 日本共産党県議会議員・市議会議員 殿

オンラインではありますが、第92回つくば中央メーデーの開催おめでとうございます。昨年に引き続き、コロナ禍中でのメーデーを迎えることになりました。

政府の場あたり対応の元で、根本的な対策が取られず新型コロナの波を繰り返しています。

日本共産党は、政府に①コロナ封じ込めのための大規模検査 ②中小企業が事業を続けられる十分な補償 ③医療機関への減収補填とあらゆる手段を尽くしての病床確保 ④今夏の東京五輪・パラリンピック中止の決断の四つが政府の決断として必要であることを強調しています。

このコロナ禍こそ、最低賃金を大幅に引き上げ、地域間格差の是正を求められています。医療、介護、福祉、保育など国民生活を支える「エッセンシャルワーカー」が最賃の全国一律制、時給1,500円と中小企業支援を実現するため奮闘していかなければなりません。このことは、地方の消費購買力対策につながっています。

近く行われる総選挙では、未来を拓くための政権を移行する野党共闘が現実化しつつあります。国民と野党との強いきずなをつくるため、日本共産党は奮闘していく決意を表明します。

第 92 回つくば中央メーデー万歳

日本共産党茨城県議 山中たい子

つくば市議 橋本けい子

つくば市議 山中まゆみ



中央労働金庫つくば支店長 清水 真 殿

拝啓 春暖の候、皆様ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、心から感謝いたしております。

さて、新型コロナウイルス感染者が再び増え始め、変異株への懸念も高まっております。宮城県、大阪府、兵庫県に続き、東京都、京都府、沖縄県でもまん延防止等重点措置が実施され、感染拡大の防止が強化されました。国内でも医療従事者に続き、高齢者の方々へのワクチン接種が開始されておりますが、未だ収束は見通せない状況でございます。我々ろうきんもコロナ禍での1年余り、皆様のご安全を最優先に考えながら営業を続けてまいりました。緊急事態宣言下では出勤人数を減らし、お昼の時間帯1時間窓口を閉める等の異例の対応を強いられました。

皆様におかれましても、生活・労働・研究環境を守るため、日々様々な苦境・不安と闘っていらっしゃるかと拝察いたします。こんな時だからこそ労働組合の皆様・家族の皆様・職場の皆様、一致団結してお互いを助け合いながら困難を乗り越えていただきたいと思います。

ろうきんはこれからも皆様の生活応援をさせていただくために尽力して参ります。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

敬具

2021年4月14日



こくみん共済 coop 茨城推進本部長 打越 秋一 殿

第 92 回つくば中央メーデーのご開催をお祝い申し上げます。

また、日頃より国民共済 coop<全労済>の運動と事業にあたたかいご理解・ご協力をいただき御礼申し上げます。

そして、新型コロナウイルス感染症が拡大し収束が見通せない厳しい環境のなか、それぞれのお立場で、ご尽力とご奮闘を続けてこられている組合員の皆さまに、心から感謝申し上げます。

こくみん共済 coop は、組合員・協力団体・労働組合組織・協同組合組織などの仲間とともに、共済の普及と社会課題の解決に取り組み、理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」をすすめてきました。

これは、誰一人取り残さない社会づくりをめざす、SDG s に通じるものです。格差の拡大や大規模災害の増加、新型コロナウイルス感染症拡大など組合員の皆さまの生活が脅かされるなか、「共済」を通じて人と人との「たすけあいの輪」をむすぶ、こくみん共済 coop の役割を認識し、SDG s の達成に貢献していく所存です。

今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本日のつくば中央メーデーを機に、参集する組織、組合員の皆さまの益々のご発展を心よりご祈念申し上げ、応援のメッセージとさせていただきます。

2020 年 5 月 1 日